

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公表番号】特表 2007-515423 (P2007-515423A)

【公表日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【年通号数】公開・登録公報 2007-022

【出願番号】特願 2006-545535 (P2006-545535)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/46 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/26 (2006.01)

A 6 1 K 31/095 (2006.01)

A 6 1 K 31/353 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 27/06

A 6 1 K 47/46

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 31/26

A 6 1 K 31/095

A 6 1 K 31/353

A 6 1 K 9/08

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 22 日 (2007.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験体において、緑内障性網膜症または視神経障害を処置するための医薬の調製における、N r f 2 タンパク質の核転位のための刺激活性を有する薬剤、および受容可能なキャリアを含有する組成物の有効量の、使用。

【請求項 2】

前記被験体が、緑内障性網膜症または視神経障害を発症する危険がある、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記被験体が、緑内障性網膜症または視神経障害の症状を有する、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記薬剤が、M i c h a e l 付加アクセプター、ジフェノール、チオカルバメート、キノン、1, 2 - ジチオール - 3 - チオン、ブチル化ヒドロキシアニソール、フラボノイド、イソチオシアネート、3, 5 - ジ - t e r t - ブチル - 4 - ヒドロキシトルエン、エトキシキン、クマリン、これらの組み合わせ、またはこれらの薬理学的に活性な誘導体もしくは

はアナログを含む、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 5】

前記薬剤が、イソチオシアネートまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 6】

前記イソチオシアネートが、スルホラファンまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 5 に記載の使用。

【請求項 7】

前記薬剤が、1, 2 - ジチオール - 3 - チオンまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 8】

前記 1, 2 - ジチオール - 3 - チオンが、オルチプラッツまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 7 に記載の使用。

【請求項 9】

前記薬剤が、フラボノイドまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 10】

前記フラボノイドが、ケルセチンまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 9 に記載の使用。

【請求項 11】

前記医薬が、眼内注射、遅延放出送達デバイスの移植、または、局所投与、経口投与、もしくはは鼻腔内投与のために調製される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 12】

前記医薬が、眼内投与のために調製される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 13】

被験体において、緑内障性網膜症または視神経障害を処置するための組成物であって、Nrf2 タンパク質の核転位のための刺激活性を有する薬剤の有効量、および受容可能なキャリアを含有する、組成物。

【請求項 14】

前記被験体が、緑内障性網膜症または視神経障害を発症する危険がある、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記被験体が、緑内障性網膜症または視神経障害の症状を有する、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記薬剤が、Michael 付加アクセプター、ジフェノール、チオカルバメート、キノン、1, 2 - ジチオール - 3 - チオン、ブチル化ヒドロキシアニソール、フラボノイド、イソチオシアネート、3, 5 - ジ - tert - ブチル - 4 - ヒドロキシトルエン、エトキシキン、クマリン、これらの組み合わせ、またはこれらの薬理学的に活性な誘導体もしくはアナログを含む、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記薬剤が、イソチオシアネートまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記イソチオシアネートが、スルホラファンまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 19】

前記薬剤が、1, 2 - ジチオール - 3 - チオンまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 20】

前記 1 , 2 - ジチオール - 3 - チオンが、オルチプラッツまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 1 9 に記載の組成物。

【請求項 2 1】

前記薬剤が、フラボノイドまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 1 6 に記載の組成物。

【請求項 2 2】

前記フラボノイドが、ケルセチンまたはその薬理学的に活性な誘導体を含む、請求項 2 1 に記載の組成物。

【請求項 2 3】

前記組成物が、眼内注射、遅延放出送達デバイスの移植、または、局所投与、経口投与、もしくは鼻腔内投与のために調製される、請求項 1 3 に記載の組成物。

【請求項 2 4】

前記組成物が、眼内投与のために調製される、請求項 1 3 に記載の組成物。